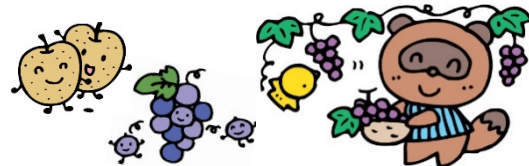




京都大学男女共同参画推進センター 病児保育室 こもも



I. 病児保育室とは

「京都大学男女共同参画推進センター病児保育室」（以下、京大病児保育室）は、京都大学教職員・学生の子どもが、病中・病後のため幼稚園・保育園・学校へ登園・登校できない時、親が仕事や研究を休むことなく、子どもの保育ができる環境を提供する施設です。京大病児保育室では、京都大学医学部附属病院と連携し、看護師・保育士が常駐する安心できる環境において、病児の保育を行っています。

II. 病児保育室の利用状況について

2015年6月に病児保育室利用許可基準を見直し、2016年4月より開室時間の変更を行い、利用しやすい環境に取り組んできました。

左記は利用許可基準見直し約1年前から現在までの病児保育室利用率を調査した結果です。

対象：病児保育利用者 生後6ヶ月～小学3年生

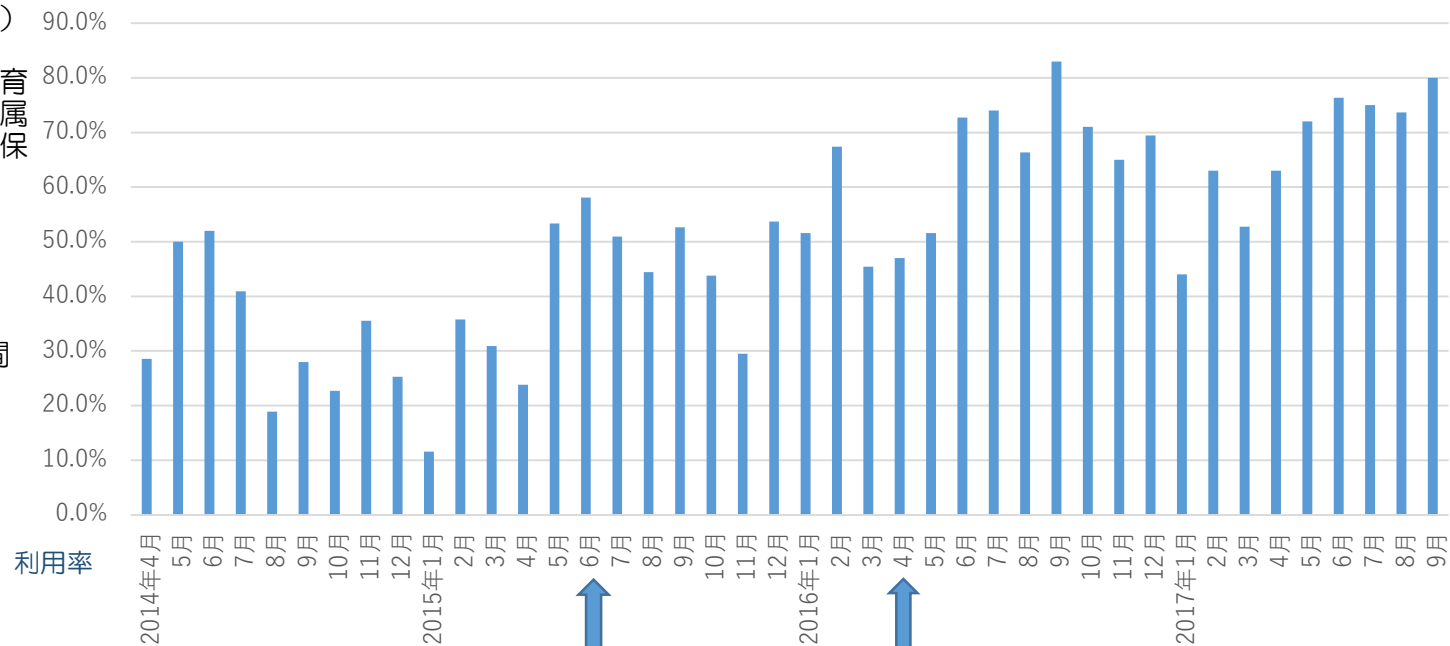
期間：2014年4月1日（火）～2017年9月29日（金）

利用率：開室日数×5人（定員）を母数として算出

左記のグラフから

- 利用許可基準の見直し前は、利用率32.6%でしたが、見直し後は60.6%となり、以前より利用率が上昇したという結果が得られました。

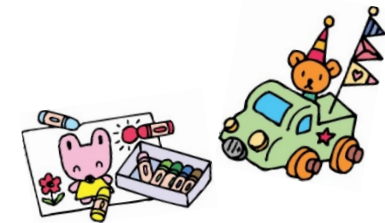
病児保育室の利用率の推移



利用率

利用基準見直し

利用時間改定



Ⅲ. 病児保育室での熱があるときの過ごし方

病児保育室では熱のある子と回復期の子も同じお部屋で過ごしています。

熱がある子には、その時々で状況で体温調整が必要となってきます。体温が上がる前には寒気がして手足が冷たくなるので温めてあげたり、体温が上がってしまうと、体全体が熱くなるので薄着にしたり、汗をかいた時は適宜着替えをしています。



熱が高くても、比較的機嫌よくおもちゃで遊べたり、昼食やおやつを摂取できる子もいますが、しんどくてぐったりしてしまう子もたくさんいます。機嫌よく過ごせる場合は、熱の経過や本人の表情を観察しながら、解熱剤は使用せずに様子を見ています。

しんどくなると、食べることもできず、水分をとることも難しいことが多く、脱水になったり、体力も落ちてきてしまいます。このような場合は、病児保育室担当の医師と保護者の方と相談し、脱水予防、体力温存のために解熱剤を使用することもあります。

また、既往で熱性痙攣があったり、〇〇度以上で解熱剤を使用して欲しいなど、お話しいただければ病児保育室担当の医師と状態を相談しながら、症状に応じた適切な対応をさせていただきます。



Ⅳ. 病児保育室での薬の飲ませ方

病児保育室では、内服薬のある子は持参してもらい、しんどい時でも子どもたちに頑張って飲んでもらっています。薬を飲むのが好きな子、得意な子もいれば、やはり、苦手な子もたくさんいます。

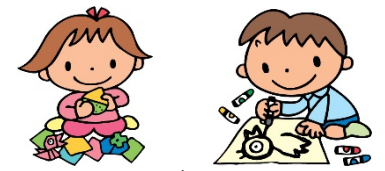
薬は基本的にお白湯で内服してもらっています。薬を少量のお白湯で粘土状にし、スプーン1口で内服できるようにしています。

薬が苦手な子は、雰囲気や薬を練っている動作で気が付いたりします。そのため、少し見えないところで薬を練って準備をしたり、「甘くていいにおいがするよ！」など、少しでも不安な気持ちを取り除き、薬が飲めたら「飲めたね～！がんばったね～！」と飲めたことをほめて、子どもが自信を持てるようにしています。

また、お兄ちゃんやお姉ちゃんになってくると、薬の大切さを説明すると納得して飲んでくれる子もいます。

ジュースやお薬ゼリー、これに混ぜて飲ませてほしいと希望のある方は、持参していただいて大丈夫です。家での飲み方をお話ください。

Ⅴ. 病児保育室での遊び～ある日の保育室



病児保育室は、いつも行っている保育園とは違う場所。まして熱が出たりして調子が悪い時に来るので、子どもたちが不安になるのは仕方がないことです。

その不安を和らげ「楽しいな」と感じて過ごしてもらうことを一番に考えています。「わあ、これで遊びたい！！」と思ってもらえるように、おもちゃをたくさんそろえています。

年齢構成も様々で、同じような年齢の子が集まることはあまりありません。

この日は3歳前後の男の子がそろい、プラレールやプリオのレールセットを総動員して、部屋いっぱいにレールを広げみんなで遊びました。

…と言ってもなかなか一緒に遊ぶところまでは深まらず…各々が電車を走らせて満足していたようですが。



「こもも」のおうち。ままごとや人形を持って入って遊んでいます。

☆子どもたちに人気のおもちゃ



アンパンマンのジュース屋さん。1歳ころから遊べます！



みんなが好きな「機関車トーマス」のおもちゃです。

